



北海道置戸高等学校 PTA だより

第 122 号
令和 2 年 3 月 1 日

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

校長先生をはじめ、先生方におかれましては、生徒たちをここまで温かく、時には厳しく導いて下さり心よりお礼申し上げます。また、日頃より地域の皆様におかれましては、置戸高校の生徒を温かく見守って頂き心より感謝申し上げます。

生徒の皆様におかれましては、三年前緊張しながら置戸高校に入学し、楽しい事や辛い事も皆で力を合わせ、介護の勉強に全力を尽くし、また、部活動や学校祭、寮生活や寒い中の通学、たくさんの経験を通して、大きく成長することができた三年間だったと思います。本当に良く頑張りました。また、この三年間でたくさんの先輩ができて、学校生活、寮生活など、たくさんのことを先輩に教えて頂き、置戸高校の最高学年として、立派に次の世代に引き継いでくれたと思います。本当にありがとうございます。

在校生の皆さんも、卒業生の皆さんの背中を見ながら、一生懸命ついでいき、頑張つてこれたことと思います。

卒業生の皆さんは、ここで高校生活を終えますが、皆さんにとって、この日はゴールではなく、新たな人生のスタートでもあります。これから皆さんは、別々の夢に向かって旅立つ事となります。大きな夢に向かって、皆さんの期待と不安があると思いますが、この三年間置戸高校で培った、努力、責任、前進の日々に自信を持ち、一步一步乗り越えてほしいと願っています。そして、どうしても一人で乗り越えられない時や苦しい時、息抜きしたい時、いつでも帰ってきてください。

最後に皆さんが、これから大人として責任を持ち、置戸高校の卒業生として誇りを持ち、輝かしい未来に向けて、歩んでほしいと願っています。皆さんの素晴らしい前進する姿を見せて頂きありがとうございます。皆さんの輝かしい未来を心から応援しています。

「卒業生の皆さんへ」

PTA 会長 岡田 誠

「卒業に寄せて」

校長 坂本 浩哉

置戸高校福祉科 15 期生の生徒諸君、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。13 名の卒業生は、置戸高校の目指すべき姿の礎を体現してくれた学年でした。学ぶ仲間を励まし、共に頑張る置戸高生の真摯な姿勢と日々積み重ねるひたむきな努力は、私たち PTA をはじめ、周囲の大人に勇気と元氣と感動を発信してくれました。

子育て、教育の究極のキーワードは「自立」であり、「独り立ち」です。何年か前に「中国では一人っ子政策で子供を過保護に育てすぎたため、子供の自立が遅くなっており、だから、今は、親も学校も、あえて子供の失敗を歓迎するような教育をしています」と、ある中国の高校の校長先生から印象的なお話を伺いました。このことを換言してみますと、どんな子供達に挑戦させることだと言えます。このことは、成功や失敗から様々なことを学び、そのことがつぎのステップに活かされ、今後の人生に大きな財産となつて返ってきます。今まさに巣立ちのとき、私達教員も、親も、もっと大胆に子供達に挑戦させ、失敗の経験を積ませていきたいものです。それは私達にとつても覚悟がなければ出来ないということですが、その失敗こそ間違いなく子供達が自立するための生きる力になるはずで。

AI 化・グローバル化の進む現代社会を生きぬく力をつけさせるために、私たち PTA は子供達を全力でこれからも応援し続けたいと思います。今後とも本校教育活動へのご支援、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

「介護実習を終えて」 2年 T・T

私は、今回の 3 週間の施設実習でたくさんの利用者様の介助を行わせていただきました。初日から、食事介助を毎日行わせていただきました。同じ利用者様に何度も入らせていただいたり、時には違う利用者様など、たくさんの利用者様に入らせていただきました。同じ利用者様に入らせていただいたことによってたくさんの疑問を持つことができました。疑問を持つことは、実習中に担当の方へたくさんアドバイスしていただいていたことでした。

同じ利用者様に入らせていただくと、その日その時で利用者様の状況は変わるため、何故今日は食べないのだろう、何故昼はたくさん食べていたのに夜は食べないのだろう、などと疑問を持ちました。

いつもと違う利用者様でもたくさんの疑問を持つことができます。何故この方は寝たままご飯を食べるのだろうか、何故食事形態はミキサーや刻み食なのだろうかなどと疑問を持ちました。しかし、今回の実習では疑問を持つことで終わってしまいました。この疑問を次に繋げることができませんでした。それは、疑問を持つのが遅かったからです。そのため、3 年生での実習では、早い段階から疑問を持つようにしたいと思います。そのためには普段の生活から疑問をもって生活をするということを中心、習慣付けたいと思います。そして、3 年生の実習で疑問を持ち、次に繋げてもっと良い介助にできるようにしたいと思います。

「コミュニケーション実習を終えて」 1年 S・H

私は今回初めての实習で、施設の方々に様々な体験や見学をさせていただきました。例えば食事介助でどのようにしているか、また入浴介助はどのようにして行っているのか、学校では学んだことのないことや、テレビでしか見たことのない食事介助や入浴介助を目の前で見学することができ、とても素晴らしい経験をさせていただいた実習となりました。

私達は実習に行く数ヶ月前から、行かせていただく施設のことを調べ、誰でも参加でき楽しむことのできるレクリエーションを考えて、道具を一つひとつ私達自身で作りました。レクリエーションの内容を考えている時は、先生方や先輩、クラスメイトにもたくさんの意見などをもらい企画しました。そしてレクリエーション当日、私達が先生や先輩、クラスメイトに支えられ考えてきたレクリエーションを発表する時がきました。この日まで何度もやり直して、何回も原稿を読んできました。本番はとても緊張して手や声が震えそうでした。ですが、利用者様はとても楽しそうに笑ってくれたり、私達の説明で分からないことがあればすぐに質問してくださいました。練習と本番は違うので、原稿とは少し変わった部分もありましたが、最後まで利用者様に笑顔で楽しんでもらうことができました。

実習中の 5 日間は勉強になることが多く、職員の方達がしなくてはいけないことや、利用者様とのコミュニケーションの図り方や話す時の態度など、一つひとつがとても勉強になりました。私が 2 年生や 3 年生になった時にも、決して今回の実習のことを忘れずに生かしていけるように今後も努力していきたいです。

今後の行事予定

- 3 / 1 (日) 第 54 回卒業証書授与式
- 2 (月) 1 日の振替日 閉寮 (8 日開寮)
- 10 (火) 漢字コンクール 2 年生福祉校内模試 (11 日)
- 11 (水) 1 年生手話講習会
- 12 (木) 2 年生普通救命講習 1 年生学力テスト
- 17 (火) 寮大掃除 個人写真撮影
- 19 (木) PTA 役員会
- 24 (火) 修了式、離任式、大掃除 寮父母の役員会
- 25 (水) 年度末休業 (31 日) 閉寮 (7 日開寮)
- 4 / 1 (水) 年度始休業 (7 日)
- 8 (水) 水着任式、前期始業式、大掃除
- 9 (木) 入学式、入寮式



卒業生の皆さんへ
三年保護者代表 下谷 弘美

卒業に寄せて
三年担任 高橋 健太

ご卒業おめでとうございます。本当に、この三年間は大変だったと思います。一年生の時には、約一ヶ月間の実習、二年生の時には、約一ヶ月間の実習、三年生になると、約二ヶ月間の実習と、本当に大変だったと思います。

これからは、それぞれの道を歩み、春からは社会人、大学、専門学校となりますね。こんな言葉を聞いた事があります。

「結果は後からついてくる」
なんでも一所懸命やってみる事。一所懸命やっている姿は、周りの皆が見ている。いつかそれが認められ、新たなチャンスにつながる。そこから、きっと良い結果が訪れる。
最後になりますが、卒業おめでとうございます。



3年生国家試験の会場で



3年生学校祭でのよきこい

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。多くの皆様の支えによって今日の目を迎えられることを大変嬉しく思っております。

保護者の皆様には三年間、あらゆる場面で本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、お子様の成長を一番にサポートしていただき、ありがとうございました。私自身、至らない点も多々あり、皆様にはご迷惑やご心配をおかけしましたが、最後まで温かく見守っていただきましたこと心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、この三年間は楽しいことばかりではなく、辛く苦しいことの方が多かったと思います。それでも皆さんは一つひとつを乗り越え、逞しく成長してくれました。目の前のことに最後まで諦めず向かっていく姿は本当に立派で輝いていました。そんな皆さんの姿に私はいつも元気をもらっていました。どうか、社会に出てからも変わらず輝ける人であってください。そして誰からも求められる人であってください。皆さんが置戸高校卒業生としての誇りを持ち、それぞれの場所で羽ばたいていってくださることを願っております。

最後になりましたが、三年間、学校の諸活動やPTA活動にご支援とご協力を頂きました保護者の皆様ならびにPTA役員の皆様、生徒達へ最大限のご支援をいただきました置戸町の皆様、そして多くの関係諸機関の皆様には改めて心より感謝申し上げます。今後とも置戸高校への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国家試験を終えて

3年 S・M

1月26日置戸高校での一大イベントが終わりました。この日を迎えるまでは、模試の解説に追われ心に余裕なんて全くありませんでした。模試の点数に一喜一憂しては落ち込んでこのままじゃ合格できないと焦りばかりでした。ですが、私と同じように模試を受けて解説を頑張っているクラスの皆がいたから乗り越えられたと感じています。

激励会では、たくさんの先生たちと後輩から応援のメッセージを頂いて、さらに気持ちが引き締まりました。手作りのお守りもとても嬉しかったです。

本番では、今まで体験したことのないような緊張が襲ってきて、口から何かが出そうでパニック状態でした。会場では人の多さにやられそうでした。「大丈夫、できる」とずっと自分に言い聞かせていました。試験が始まってからは案外、落ちついて受けることができました。

国試が終わってやり残したことや後悔は何もありません。今まで自分のやってきたことに、なかなか自信を持つことができませんでした。ですが、自信をもって、国試に挑むことができました。

この3年間は、辛いこと大変なことばかりで、何度も泣いてやめたいと思うことがありました。でも介護福祉士になりたいという目標があったから、やりきることができました。ここまでやってこれたのは家族や先生方、後輩たち周りの人たちの支えがあったからです。両親には毎日送り迎えしてもらってとても感謝しています。合格して感謝の気持ちを伝えたいです。応援して支えてくれた皆さんありがとうございました。

感謝の気持ち

3年 K・R

私は、置戸高校で3年間、寮生活を送りながら過ごしてきました。初めての集団生活や福祉の勉強に不安はありましたが、上手いかない時や苦しいときはクラスメイトや先生方、もちろん家族に支えられてここまで来られたと思います。

学校生活では、先生方に3年間教えていただき、模試の点数が上がらず悩んでいる時も分かりやすく教えていただいたため、国家試験では自信を持って本番に臨むことができました。私は勉強が苦手でしたが、高校に入学してから必死に努力してきました。何度も挫けそうになりましたが、家族をはじめ多くの人の支えがあったことで最後まで諦めずにやり切ることができました。本当にありがとうございました。

今後は、先生方、家族、地域の方々に支えてもらったことに感謝しながら、置戸高校での3年間で学んだことを福祉の仕事に繋げ、精一杯頑張っていきます。

家族には陰ながら支えてくれたこと、置戸まで送迎してくれたことなど多くのことに対して感謝してもきれません。ですので、少しずつですが親孝行していきますのでこれからもよろしくお祈りします。



三年進路決定状況

今年度の進学・就職先は次のとおりです。

- 進学
 - 旭川大学 保健福祉学部コミュニティ福祉学科
 - 札幌学院大学 人文学部人間科学科
 - 札幌国際大学短期大学部 総合生活キャリア学科
 - 日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
 - 北海道千歳リハビリテーション大学 健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
- 就職
 - 管内
 - 医療法人社団北星会 グループホームふみりあ
 - 置戸赤十字病院
 - 佐呂間町 佐呂間町立特別養護老人ホーム愛の園
 - 社会福祉法人北海道仕愛会 特別養護老人ホーム光の苑
 - りくべつエヌピーオー優愛会 グループホームゆうの里
 - 道内
 - 医療法人讚生会 介護老人保健施設浦河緑苑
 - 社会福祉法人豊富福祉会 特別養護老人ホーム温心園
 - 社会福祉法人悠生会 介護老人保健施設白ゆりあいの里

五十音順

